

## 社会教育からのチャレンジ

～地域や家庭で共に学び支えあう社会の実現に向けて～

## 【事例発表者】

## ■ 長野県岡谷市教育委員会生涯学習課 生涯学習推進主幹 清水 浩史



平成8年岡谷市役所入所。スポーツ振興課や水道課などを経て、令和5年度より現職。社会教育委員の会議や各種講座・教室の企画運営、カルチャーセンターの管理などを担当。

## ■ 長野県岡谷市社会教育委員 関島 良治 山岸 みち子 今井 鈴子



## 岡谷市社会教育委員の会議

学校教育、社会教育、家庭教育、学識経験者から選出。令和7年度の委員数10名。「行動する社会教育委員」を掲げ、常に現場に足を運び、積極的に意見交換を行うとともに、「自由な議論」をモットーに、柔らかな雰囲気の中で全ての委員が自由に発言し、面白そうな所や工夫できることを楽しく議論している。平成21年「成長樹(期)子育て実践ポイント」作成。令和5年の再改訂に伴い、当時の社会教育委員が出演してPR動画を作成。

## ■ 廿日市市佐方市民センター 所長 加芝 洋二



28年間の老人ホーム職員を経て、令和5年度より現職。地域コーディネーターとしての活動も行っている。2025年社会教育主事講習を修了し、社会教育士の称号を得る。現在、大学院に通い「Compassion Community (苦しみ、悲しみ、死をわかちあうまちづくり)」について研究。

佐方市民センターにおいて、「キキカン」「なんにもしない合宿」等、「チャレンジ」と「自己決定」を大切にした事業を企画し、大人も子どもも互いに「ささえあう」地域づくりに取り組んでいる。

## 【ファシリテーター】

## 岡山県立大学保健福祉学部現代福祉学科 教授 近藤 理恵



立命館大学助手、瀬戸内短期大学専任講師、岡山県立大学准教授等を経て、現職。専門は、社会学(社会病理学、フランス社会学理論、教育社会学)、国際家族福祉論。日仏社会学会の理事(学会誌編集委員長)を務め、ひとり親家族、子どもの貧困、子ども虐待、フォスター・ケア(里親)、ドメスティック・バイオレンスの政策について研究している。2021年NHK岡山ニュース、2025年瀬戸内海放送ニュース出演や学校教職員を対象とした、ヤングケアラーについて理解を深めるための研修会講師等、様々な研修会等において講師を務めている。著書には、『日本、韓国、フランスのひとり親家族の不安定さのリスクと幸せ』(学文社2013)、「結論」等『子どもの貧困対策と福祉関連QOL』(学文社2018)等、多数。